

# 素晴らしい歴史を広めたい



駅逦所について説明する村井さん



管理人の仕事は月に12日ほど。開館前には念入りに掃除をする



## 中山久蔵と旧島松駅逦所の歴史を伝える 村井 明さん

むらい・あきら  
大曲南ヶ丘在住。  
中山久蔵を顕彰する会事務局を務める。まちを好きになる市民大学OBで、市の歴史や文化を広めるために活動中。  
北広島歌謡連盟にも所属し、10月末に市内で開かれる「社会福祉チャリティ歌謡ショー」の運営にも携わっている。



### 中山久蔵を顕彰する会

寒地稲作の祖といわれる中山久蔵翁の偉業を後世に伝える「中山久蔵を顕彰する会」。3年前に「中山久蔵の足跡を辿って」の出版を機に結成された。事務局を務めるのは村井明さんだ。旧島松駅逦所の管理人をしながら、さまざまな活動を行っている。

### 市の歴史を学ぶ

6年ほど前、シルバー人材センターに登録して、旧島松駅逦所の管理人になった。仕事を始めてから、駅逦所の外観だけを見て帰ってしまう方が多いことに気がついた。「館内には興味深い展示物があるので、もっとPRして入館者を増やしたい」と考えた。  
市の歴史を学ぼうと「まちを好きになる市民大学」を受講。その後、会の仲間と久蔵翁ゆかりの地である大阪府・太子町や宮城県・

登米市などを巡り調査を行った。学んだ事を生かし、久蔵翁と駅逦所の関わりや赤毛種について、希望者に解説するようになった。「自分で汗をかいて経験した言葉でない」と、感動してもらえない。村井さんの信条だ。

### 駅逦所便り

コミュニティ放送局「FMメイト」で毎週火曜に5分ほど、駅逦所の様子を伝える「駅逦所便り」がある。そのコーナーで紹介する原稿を書いている。

来館してくれた方々との何気ないやり取りや、ハスの花が咲き始めたとか、見本田の稲がどのくらい伸びたかなど、気が付いたことを取り上げているそう。

「近くを車で通りかかった方が放送を聞いて、わざわざ立ち寄ってくれたこともありました。こんな史跡があるとは知らなかった」と喜んでもらえたんです。

### 松本十郎を称える会と交流

明治時代の開拓大判官・松本十郎翁の功績を伝える「松本十郎を称える会」関係者が1年前に駅逦所を訪れ、説明を熱心に聞いてくれた。十郎翁は久蔵翁と親交が厚かったこともあり、十郎翁の没後100年を記念した頌徳祭を今年、北広島市で開くことになった。顕彰する会が協力し、多くの市民が支援して、先月無事に終了した。

### 北広島市の宝

2019年は、久蔵翁の没後100年に当たる。会として、何か功績を広める催しができたらと考えているところだ。「久蔵翁の功績と駅逦所は北広島だけでなく、北海道や国にとっても宝です。多くの人に知ってもらえるよう活動したいですね」と語る。

これからも、市の素晴らしい歴史を伝え続けてほしい。